

講義科目名称： 地域看護学特論

授業コード： 6630900100

英文科目名称： Advanced Community Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美、野口裕子、前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎高林 知佳子 cn. ac. jp	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 304	【メールアドレス】 takabaya@niigata-
	関 睦美 cn. ac. jp	同上	301	museki@niigata-
	野口 裕子 前川 絵里子 cn. ac. jp	同上 同上	209 307	yuko@niigata-cn. ac. jp maekawa@niigata-
【大学の科目区分】 専門分野				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 ○ ◎ ○ ○				

到達目標	地域看護の対象となる個人・家族・集団・地域に対する支援・活動に活用可能な基本概念や理論を説明できる。			
授業概要	地域看護の対象となる個人・家族・集団・地域への支援・活動に活用可能な基本概念や理論を国内外の文献、参考図書を通して学修し討議を行いながら、学生の実践事例や活動に適用していく上での課題について考察を深めていく。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：授業の到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、授業の目的に基づき文献を検索する方法 備考：高林、関、野口、前川		
	2-6	授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：地域看護の基本概念 学修内容：退院支援 意思決定支援 緩和ケア 患者中心のケア エンドオブライフケア 備考：高林		
	7-9	授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：地域看護活動の展開 学修内容：コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いた地域アセスメントと計画・実施・評価（ヘルスケアの課題と変遷を含む） グループ活動、グループワークの理論 地域づくりの理論 備考：野口		
	10-12	授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：家族看護の理論と方法 学修内容：家族看護の理論 家族のアセスメント・介入モデル カルガリーモデル、家族生活力量モデル 備考：関		
	13-14	授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：ケアシステム 学修内容：地域包括ケアシステム、地域ケアシステム ケアマネジメント 備考：前川		
	15	授業内容		

	授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：まとめ 学修内容：これまで学んだ概念や理論を学生の実践事例や活動に適用していく上での課題 備考：高林、関、野口、前川
事前・事後学習	事前学修：学修課題・学修内容についてできる限り詳細に学修しレポートにまとめるとともに、学修内容に示した概念や理論を自己の現場に照らし合わせ、活動紹介もしくは事例紹介として資料を作成する。これらの学修を通して感じた疑問点や不明点、討議したい内容をまとめる（なお1コマ目のみ、資料作成不要）。 事後学修：講義内容を振り返り各自の看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。
評価方法、評価基準	到達目標に対し、事前学修内容（50%）、プレゼンテーションと討論（50%）により評価する。
テキスト	・医学書院（2024）：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 ・医学書院（2023）：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術
参考図書・資料等	・日本看護協会出版会（2024）：保健師業務要覧 ・医学書院（2019）：健康行動理論による研究と実践、 ・医歯薬出版株式会社（2011）：グループワークで学ぶ 家族看護論 カルガリー式家族モデル実践へのファーストステップ ・医学書院（2002）：家族生活力量モデル アセスメントスケールの活用法 ※その他、各自で文献・書籍を検索・収集する。
受講、課題、資料配布等のルール	・事前学修の提出は、授業日の前日まで（その授業の備考欄にある）教員すべてに提出する（メール可）。 ・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点、討議したい内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。 ※詳細は初回開講時に説明する。
教員からのメッセージ	プレゼンテーションと討議を中心に進めていきますので、主体的な参加を期待します。
オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。